

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院血液内科に、血栓性血小板減少性紫斑病で入院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学血液内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

血栓性血小板減少性紫斑病に関する後ろ向き観察研究

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院血液内科 講師 蒸野 寿紀

#### 3. 研究の目的

血栓性血小板減少性紫斑病はまれな病気であるため、一人ひとりの患者さんの検査結果や治療について、治療が終わった後からその内容を解析し、次の患者さんの治療につなげていくことが極めて重要と考えられます。本研究では、血栓性血小板減少性紫斑病に関する病態と治療の有効性を明らかにすることを目的としています。これにより、血栓性血小板減少性紫斑病の病態解明や至適な治療法について検討することが本研究の目的です。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

血栓性血小板減少性紫斑病の患者さんで、2011年4月1日から2019年12月31日までの期間中に、当院で治療を受けられた方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、血栓性血小板減少性紫斑病に関するデータと治療経過中の検査結果に関する情報です。また、治療内容、治療経過中の有害事象、原疾患の経過、生存状況も合わせて調査します。

##### (3) 方法

診療録(カルテ)より、血栓性血小板減少性紫斑病に関するデータと治療経過中の検査結果を抽出し、生存期間や有害事象発生割合、重篤な有害事象発生割合について統計学的解析を行います。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院血液内科 担当医師 蒸野 寿紀

TEL : 073-441-0665 FAX : 073-441-0653

E-mail : [mushino@wakayama-med.ac.jp](mailto:mushino@wakayama-med.ac.jp)